

“九条を守る鹿児島医師・医学者の集い”参加への呼びかけ

私たち、医師・医学者は国民の健康と生命を守ることを、一番の役割としています。その点からも、私達は生命を奪う戦争を何よりも憎み、平和の大切さを訴えるものです。

その私達にとって、看過できない事態が、国の政治の中で進められようとしています。

2005年10月28日、自民党は「新憲法草案」を公表し、その中で、九条第二項を変え、自衛隊を「自衛軍」として、その自衛軍は「国際的に協調して行われる活動」には参加できると謳い、米軍の軍事行動に「協調」して、自衛隊を海外に派兵し武力行使できるようにすることを可能にしようとしています。これは、「自衛隊を海外に派兵して戦争できる軍隊にすることを目的とした九条改正なら賛成はしない」という、多くの国民の気持ちを欺くものと言わざるを得ません。

こういった事態に対し、04年6月に井上ひさし氏らにより「九条の会」が立ち上げられ、更に04年11月には“「九条の会」のアピールに賛同する医師・医学者の会”（略称：九条の会・医療者の会）が発足し、憲法9条を守り発展させようという動きが高まっています。そして、この運動に多く医師・医学者が参加しており、鹿児島県でも九条の会・医療者の会に多くの方が賛同・参加しています（06年4月で34名）。私達は九条を守る思いを同じくする医師で交流し、鹿児島の医師・医学者として意見を発信すべく、集いを開くことを呼びかけます。

つきましては、この趣旨にご理解を賜り、この集いに参加いただけますようお願い申し上げます。

2006年 5月

呼びかけ人

青山浩一 出雲周二 大浦教一 小田代憲一 鹿島友義
田原睦郎 中村啓子